AI時代に“競争力”を築くセキュリティ変革
―「個人の努力」を「組織の仕組み」へ昇華させる

マネジメント戦略

登壇者紹介

株式会社エーアイセキュリティラボ

代表取締役社長 **青木 歩**（あおき あゆむ）

セキュリティ業界20年以上
サイバー攻撃へのセキュリティ対策分野で活動

2000年よりセキュリティ事業に従事。
大手企業のグループ会社、セキュリティ専門企業にて、
企画、営業・マーケティング等幅広い業務に携わる。
その後、組織立ち上げ、責任者を歴任。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、
「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、
人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、
社会の進化にも貢献していきます。

AeyeSecurityLab

我々はAIを活用して
脆弱性診断ツールを開発しています

開発チームにおける、AI活用状況

基本方針:「AIファースト」による実装

定型的な実装からロジック構築まで、基本はAI（Cursor）により生成。

（コーディングルールに沿った記述やテストで指摘されたものの修正は人で対応）

開発生産性の大幅な向上

- 実装までのリードタイムが短縮
- テスト品質が向上
- 月間PR数が約2.5倍に増加
- エラーを即時解決

技術レベルの底上げ

- 仕様理解が早まり属人化が解消
- 経験の浅い人材でも
  難しい実装が可能に

AIを活用している開発業務

業務	テスト品質向上	仕様理解の深化	文章の論理的一貫性の担保
AIにさせること	 テストケースの作成時に目的を出力させる	 既存コードの設計意図や前提を文章として整理	 論理の飛躍がある箇所、冒頭の主張と矛盾する記述の特定

プロダクト開発におけるAI活用率：**90%**

AIを活用したことで得られる効果

業務	テスト品質向上	仕様理解の深化	文章の論理的一貫性の担保
AIにさせること	テストケースの作成時に 目的を出力させる	既存コードの設計意図や前提を 文章として整理	論理の飛躍がある箇所、 冒頭の主張と矛盾する記述の特定
効果	何を確認したいのか、 意図を明確化し 網羅率と品質を改善	コードに埋もれていた仕様が 言語化され、 理解の正確さが向上	主張と結論の食い違いを防ぎ、 論理の一貫性を保った 高品質な文章を完成

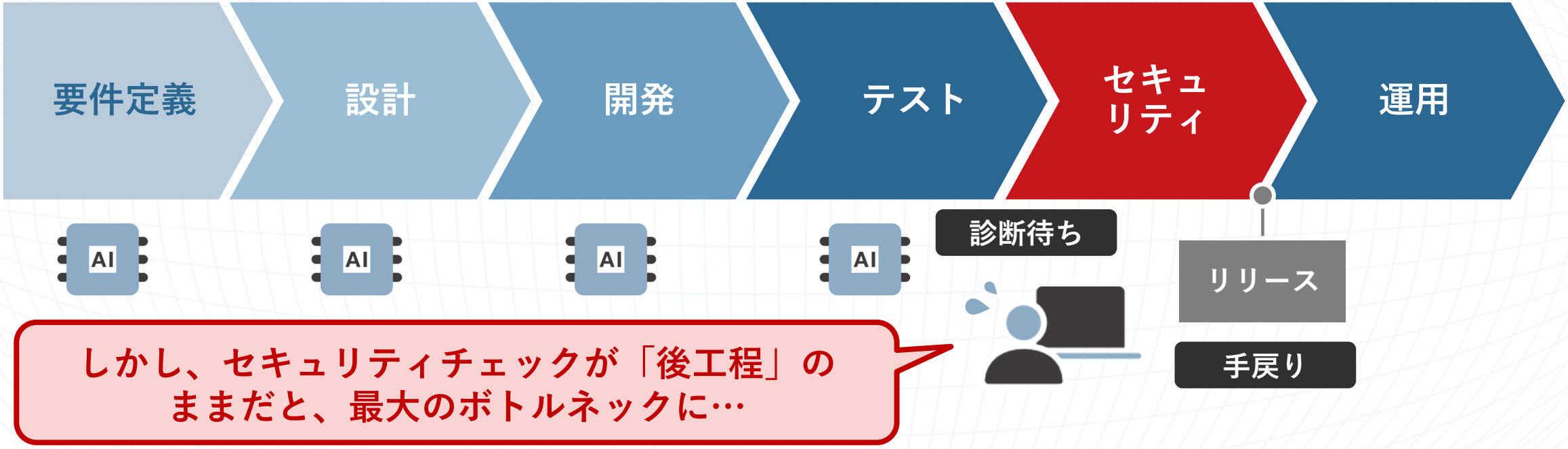
AIを活用することで、意図・目的が明確化し、品質と正確性が向上。

スピードと効率がアップし、デバッグやエラーの解決も迅速化できた

AI活用により開発は加速しているが、
そこには忘れてはならない対策が…

AIにより開発は加速しているが、そこにはセキュリティの壁も…

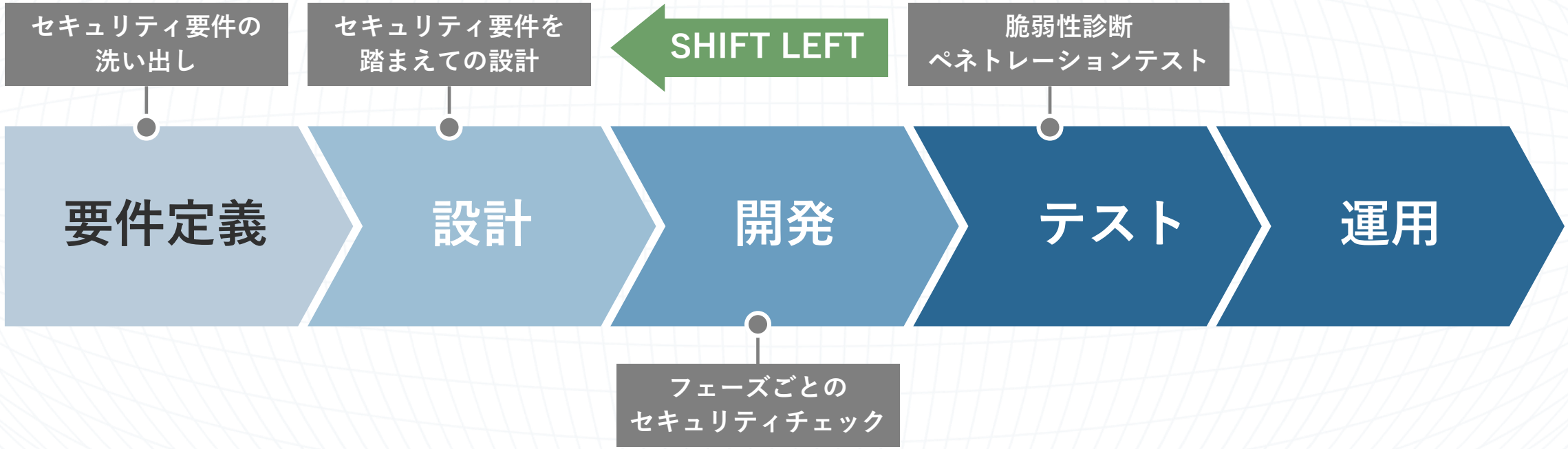
コーディング補助など開発にAIを活用することで、実装スピードは飛躍的に向上している。



いま、セキュリティという工程が、開発生産性を左右する

開発が迅速化したAI時代には、シフトレフトが欠かせない

問題を早期に発見・修正することで手戻りが減り、スピードアップと品質向上を両立。



しかし、“現場努力型シフトレフト”は限界…

シフトレフトは「現場任せ」にすると機能しない

セキュリティ対応だけが「人の頑張り」に依存した状態では新たなボトルネックになる

セキュリティに詳しい
一部の人に
レビュー負荷が集中

開発チームごとに
診断品質や判断基準が
ばらつく

現場

属人的な運用になり
担当者が変わると
ノウハウが失われる

セキュリティが開発を止める工程になってしまう…

AI時代に必要なのは「個人努力」ではなく「再現できる仕組み」

これからは、誰でも一定品質で回せる体制構築が欠かせない

診断の標準化

セキュリティチェックの自動化

CI/CDへの組み込み

判断基準の共通化

現場

継続的に回る運用設計

属人的なセキュリティ運用から脱却し、“継続的に回る組織能力”へ変えていくことが重要

では開発工程の中でセキュリティ対策できる高性能AIを活用していけば良いのでは？

AnthropicがMythos級と呼ぶ新モデル「Claude Fable 5」の実力とは

「Claude Fable 5」

Anthropicが2026年6月9日にリリース。Mythosクラスの能力を一般ユーザー向けに安全機能付きで公開した最上位AIモデルだが、わずか3日で公開停止された。（※6月中旬時点）

ガードレール（保護機能）が厳しい

- 安全かつ迅速にリリースするため、本体とは独立したAIシステムを組み込んでいる。
- サイバーセキュリティ、生物・化学、モデルなどに関するリクエストを検知すると「Fable 5」ではなく、「Claude Opus 4.8」が応答を引き継ぐ仕組み。

開発工程に組み込むには費用が非常に高額

- 従量課金の場合、作業開始時の「hi」という挨拶だけで135円の課金が発生（※）

※公開初日の情報

「Claude Fable 5」の脆弱性検出能力を調査しようとすると…

（一部抜粋）

Fable 5's safety measures flagged this message for cybersecurity or biology topics. They may flag safe, normal content as well. These measures let us bring you Mythos-level capability in other areas sooner, and we're working to refine them. Switched to Opus 4.8. Send feedback with /feedback or learn more:

（訳）

Fable 5の安全対策により、このメッセージはサイバーセキュリティまたは生物学に関するトピックとしてフラグ付けされました。安全で、通常のコンテンツもフラグ付けされる場合があります。これらの対策により、他の分野でもMythosレベルの機能をより早く提供できるようになり、現在、これらの対策の改善に取り組んでいます。Opus 4.8に切り替えました。フィードバックは/feedbackで送信するか、詳細をご覧ください。

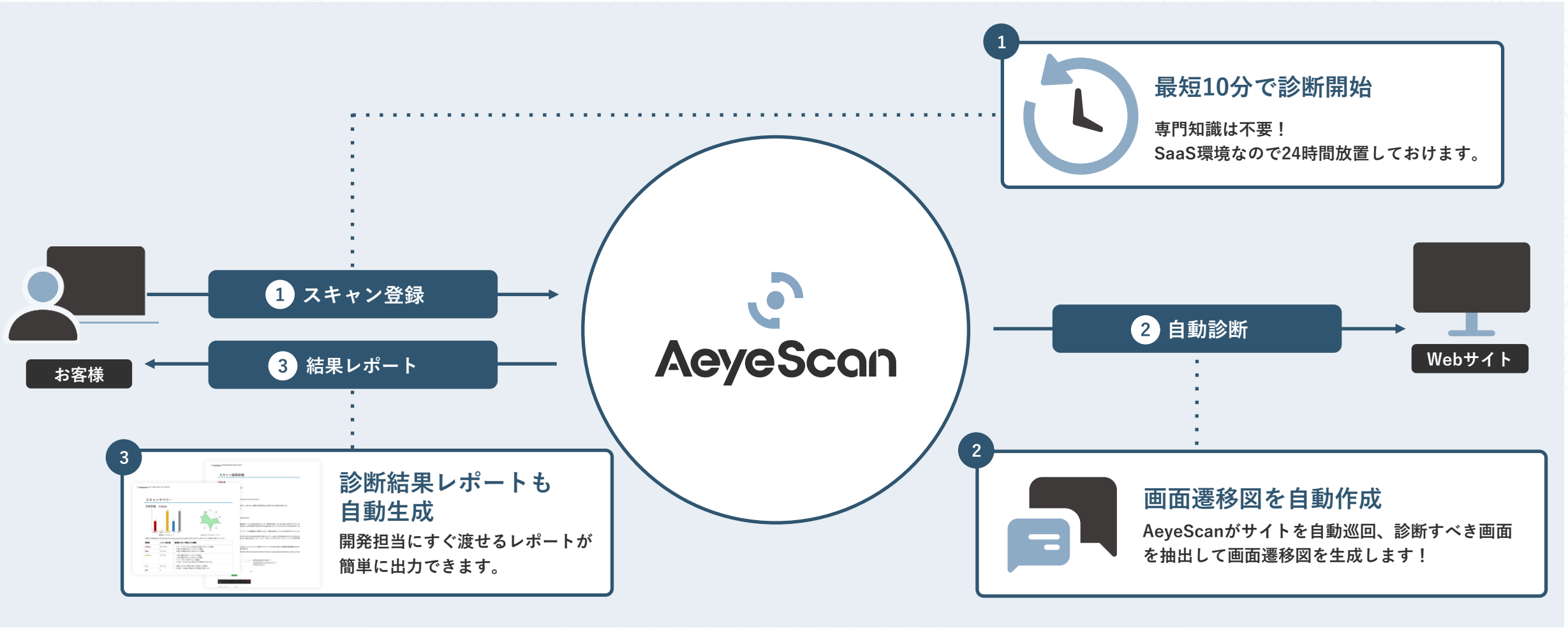
Mythos級のモデルをサイバーセキュリティ分野で利用できるのは、依然としてMythosへのアクセスが許可された一部のユーザのみという状況…

脆弱性診断に特化し、開発スピードについていけるAIを活用した診断ツールが必要

そこで、我々の出番です！

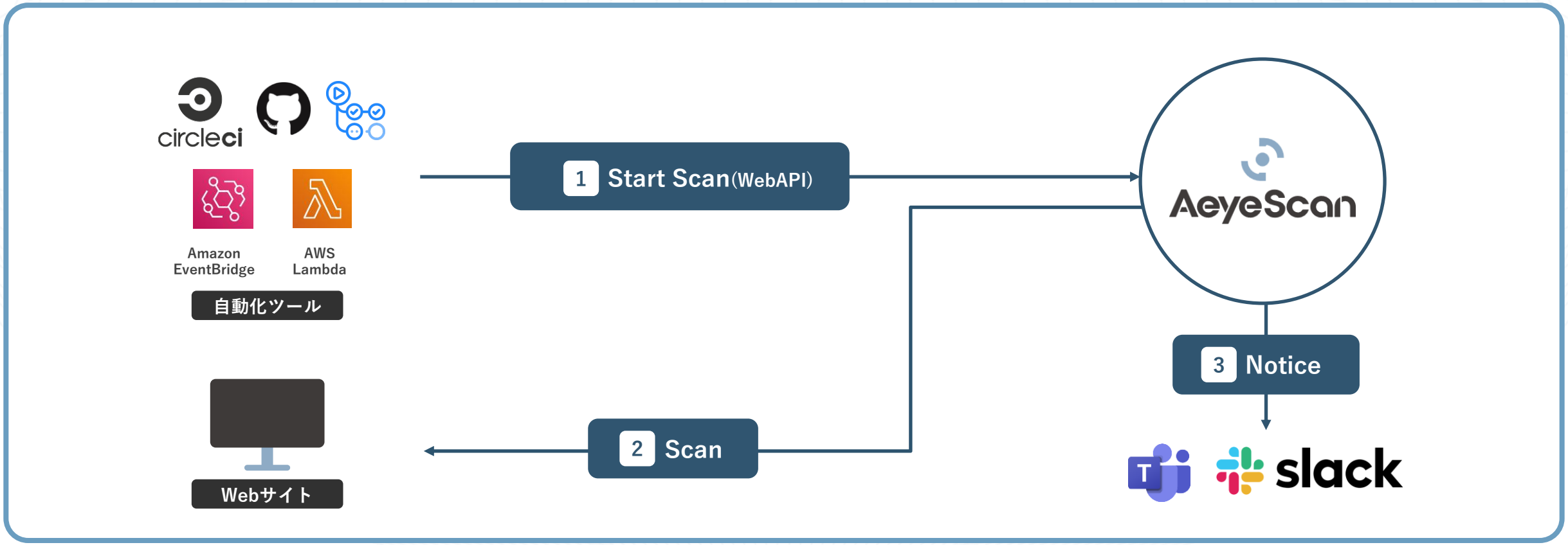
AeyeScanとは：診断の全工程を圧倒的に自動化

AI・RPA活用により、脆弱性診断を自動化するクラウド型Webアプリケーション診断ツールです。



CI/CD連携でアジャイル開発・高頻度リリースでも漏れなく診断

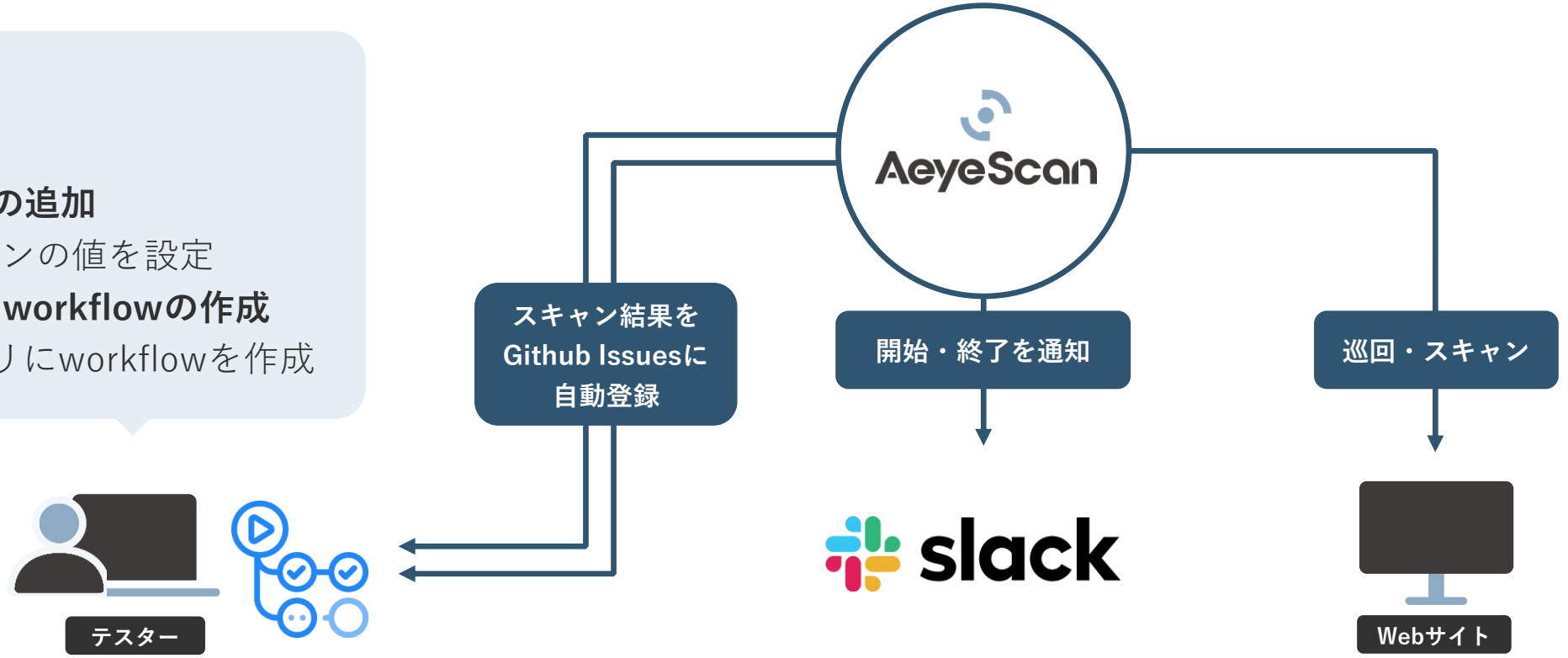
CI/CDに組み込むことで、リリースのたびに自動で診断が実行される仕組みづくりが可能に。
診断を開発プロセスに組み込み標準化できるので、大幅な効率化とセキュリティ強化を両立。



仕組みづくりと効率化の事例

Github Actionsを使い、診断を自動化。結果も一元管理

1. **スキャン作成**
2. **APIキー作成**
3. **GitHub secretsの追加**
   APIキーとトークンの値を設定
4. **GitHub Actions workflowの作成**
   Githubリポジトリにworkflowを作成



内製と外注を併用する「ハイブリッド型」の運用がおすすめ

脆弱性診断のベストな頻度

1 Webサイト構築時

まず、Webサイトの設計・開発時に
可能な限り脆弱性を解消しておく。

2 Webサイト運用時

運用中に発生する問題に対応し、
Webサイトの安全性を維持する。

自社のセキュリティポリシーに適した運用を。推奨は…

年に1回の
定期診断

＋

リリースや
機能改修時

**ツールだけで全てをまかなおうとせず、
大規模改修などの際は外注も視野に入れ、濃淡をつけた対応を！**

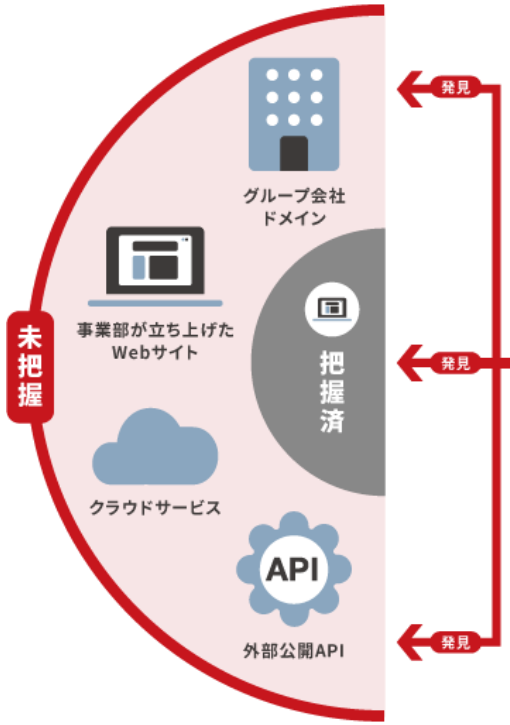
AeyeSecurityLab

生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現

オプション機能

Web-ASMとは？

把握していないWeb資産（攻撃面）の継続的な発見・リスク評価



特許取得実績のある
生成AI活用の技術により、
効率的・網羅的に攻撃面を発見

生成AI

判定理由やリスクの深刻度も
日本語でわかりやすく解説

Web-ASMの実施ステップ

1 攻撃面の **発見**

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2 攻撃面の **情報収集**

属性やミドルウェア・
ライブラリの情報を収集

3 攻撃面の **リスク評価**

資産の重要度と
リスクの深刻度を提示

AeyeScan Web-ASM機能が、これらの作業を自動化

AeyeSecurityLab

高度な生成AI活用により、効率的かつ信頼性の高い探索が可能

生成AIをASMに活用することで…！

会社名だけ
で攻撃面を探索

検索結果に上がってきた
組織名(文字列)を解読

膨大な情報源
から総合的に判定

- SSL証明書の情報
- IR情報(Web公開済み)　など

発見経路/理由
が分かる

生成AIが攻撃面を見つけるまでに
辿ったルートを説明

AeyeSecurityLab

リスク対応の優先順位付けに必要な情報を自動判別

Web資産の重要度

各Web資産の属性

（サイト用途、保持データなど）

リスクの深刻度 NEW

ミドルウェアやライブラリの悪用観測脆弱性※

※既にサイバー攻撃で悪用が確認された脆弱性

	製品情報サイト	重要度：中	2件 →	ミドルウェアA CVE-xx 深刻度：高 ミドルウェアA CVE-xx 深刻度：中
	ECサイト クレジットカード情報保持	重要度：高	1件 →	ライブラリB CVE-xx 深刻度：低
	ヘルプサイト WordPress使用	重要度：低	10件 →	ミドルウェアC CVE-xx 深刻度：高 ライブラリD CVE-xx 深刻度：高 ：

プラットフォーム診断の領域も、簡易的にスキャン・リスク把握

ポートスキャン

検出した自社資産から
外部公開サービスを発見

入り口の特定

ネットワーク診断

不要なサービスの公開や
設定不備などを検出

セキュリティリスクの特定

CVEデータベース照合

サービスの製品と
バージョン情報を照合

既知の脆弱性の特定

精査・登録した自社資産を、全自動で定期的にモニタリングできる

導入事例紹介

マネーフォワード 様

企業名　株式会社マネーフォワード

事業内容　PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

従業員数　2,400名（2024年5月末日現在）

課題

事業が拡大しプロダクトが増えるにつれ、
脆弱性診断の間隔が空いてしまうことが
懸念材料だった

具体的な課題

1. 外注だとナレッジが蓄積されない
2. 外注だと画面数に応じた料金体系で網羅的な診断を受けづらい
3. 開発が遅れた場合、ベンダーとのスケジュール調整が困難

新機能の追加や大規模な改修の際には脆弱性診断を実施していたが、それ以外はプロダクト側の判断に委ねていた。小さな改修のたびに診断を外注するのではなく、内部で迅速に診断する選択肢も持ちたかった。

導入

診断ツールを導入し
継続できなかった経験から、
使いやすさを重視

導入の背景

1. 自動巡回のカバー率が高く、主要な脆弱性を確実に検出できる
2. グループ会社のプロダクトも診断できるライセンス体系
3. API診断が可能

外国籍エンジニアも多く在籍するため、英語にも対応していること、Slackをはじめとする外部サービスとの連携性も要件だった。複数のツールの比較検討を進め、いくつかのプロダクトを対象に検証を実施した上で選定。

効果

約60プロダクトに診断を実施できた
今後、最低年1回の診断を計画

具体的な効果

1. 画面遷移図により、CISO室がプロダクトの画面を把握できるように
2. 開発者のセキュリティ意識が高まった
3. グループ統一のセキュリティスタンダード適用にも活用予定

ほぼすべてのサービスを内製で開発する中、「セキュリティスペシャリストの活動をAeyeScanがサポートしてくれている」とCISOも評価。セキュリティエンジニア以外に、QAチームでも使用を開始している。

AeyeScan（エーアイスキャン）により
セキュリティ対策にかかる **コストを削減！**

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア
No.1※

有償契約
300社以上

※ 富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）
※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2023年度実績）

プロが認める品質・精度 ＋ ブラウザ上での直感的な操作

セキュリティベンダーやSIerでも
顧客向けサービスとして活用

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも
安定した運用が可能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

インフラ※

EPARK / AIRE / HIS / H.O RETAILING / NTT EAST / odakyu / 近鉄情報システム株式会社 / GEO / SymEnergy / 水ing Swing Corporation / Suzuyo / TOYOTA HOME / NANKAI 南海システムソリューションズ / 日本調剤 / JARMeC 日本動物高度医療センター / HITOWA GROUP / BOOK・OFF / ベルーナ / grow up together MEDIA / Looop / Loyalty Marketing, Inc.

エンタメ

イープラス / CAPCOM / GungHo Online Entertainment, Inc. / とらラボ! TORANOANA LABORATORY / BookLive

メディア

集英社 / 中日新聞 / NIKKEI / Media Do

製造

AICA / AISIN / KITZ 株式会社キッツ / KOSÉ / SAKI / TIGER / TEIJIN / Denkei / House / Mizuno / ユーグレナ

金融

セブン / MS&AD MS&ADインターリスク総研 / JOBPAY / SOMPOひまわり生命 / DMM FinTech / Tokyo Century / Net Protections

人材・教育

OHSAWA DRIVING SCHOOL / 河合塾 / Junion / JINSOKEN / ZENKIGEN / Direct Sourcing / PERSOL / 立教大学 / Leverages / workport

SaaS

Advanced Media, Inc. 株式会社アドバンスト・メディア / Lexica E-Retailing Platform / エニアンドエムネット株式会社 / M-aid / エムティーアイ / OZ INTERNATIONAL / giftee* / Classi / COACH A Co.,Ltd. / cybozu / Speee / SecureNavi / Diamond head / DMM Boost / TAL / Digital Garage / TEMONA / NAVITIME / KNOCK ON THE DOOR / BATONZ / VALUE HR / freee / vector / porters / hokan / Money Forward / RUN.EDGE / RVSTA 株式会社リバスタ / Rescuenow

SI・IT企業

Rworks / アクモス 株式会社 / AVANT GROUP / Insight Edge / Infcurion / 80&Co. / SBWorks / NTT Integration / NTT DATA / NTT ビジネスソリューションズ / OMRON / Globalway / KDDI KDDI Agile Development Center / circlace / さくら情報システム / SUNDAY SYSTEMS / CEC / GA TECHNOLOGIES / Simplex Inc. / 777WORKS / SOFT CREATE / SOLTEC / 高千穂交易株式会社 / TDI / 電通総研 / TOPPAN / JOPS / JAST / PCNET 株式会社パンフィックネット / Human Interactive Technology Inc. / FUJISOFT / FUJITSU / MACROMILL / MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better 三菱電機デジタルイノベーション株式会社 / YONA / リピスト / Y!

セキュリティ企業

NEC NECセキュリティ / NTT DATA 株式会社NTTデータ先端技術 / GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS / cybertrust / LAC

※公共および社会・生活基盤までを包含

社名五十音順（導入いただいた企業様の一部です）会社名及びロゴは各社の商標または登録商標です

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScanの無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうなの？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み

お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScanへのお問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム

AeyeSecurityLab

定期開催中！ AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを検討してみたい方へ

AeyeScanがどんなものか知りたい方向けに、
デモを交えてわかりやすくご紹介。
まずは気軽に使い勝手をチェック！

AeyeScanデモ動画を視聴

AeyeScanの操作を体験してみたい方へ

実際の操作を通して、一連の機能を体感。
導入前の不安や疑問をまるごと解消。
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンズオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策にお悩みの方へ

最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認

セキュリティに、確かな答えを。